

個人山行 京都トレイル① 伏見稲荷～四つ辻～鳥戸野～清水山～栗田口～蹴上

2012年7月19日(木) 曇り

参加者：中村、片山琴美、中橋、山城 (L 記録)

集合 京阪伏見稲荷駅 9:30

京都トレイルのコース①は京阪伏見稲荷駅前から始まる。参詣道には既に参拝客で賑わっている。きらびやかな楼門、社殿とめぐり行き、次に『おもかる石』持ち上がればその願い事は叶う...らしい。さて我等一行は個々に難なく持上げていた。伏見稲荷大社では本宮祭が7月22日で、その前夜に万灯神事があり千本鳥居にも赤い提灯をつけてありました。鳥居は、日本独自の風景で海外からの観光客も非常に多い。上に上がる程に階段もキツくなって来るが四つ辻より一直線に石段の続く『上の社』で一休みする。広場もあり眺望も良い。大きな赤い鳥居が一基あり形通りに赤い提灯が付けてあった。宵宮には灯りが入る。四つ辻からはず～と下り坂で傾斜はややきつい。ドン付きで右に降り、三ノ橋川を渡り住宅街を抜けて山側の⑥泉涌寺への階段を上り再び山道に入る。泉涌寺の塔頭戒光寺で『どうぞお参り下さい運慶湛慶父子の作、御身代り丈六釈迦如来立像』に門をくぐる。真近くに寄り拝見する。総高約10mと大きな如来様ですが優しいお顔をされています。ムムッ首に赤い何かがある...後水尾天皇が暗殺されかけ身代わりとなられ首から血を流された..と伝わる。

ちょっと寄り道と澄ましたいのだが、実は⑦を見過ごして出逢ったお寺だった。⑦再確認して進む。前方に今熊野観音のポスターで見る赤い橋があるが、渡らずに右へカーブしながら下る。冷んやりと空気が違う。鳥戸野(鳥辺山)地域は平安時代から貴族の葬送地です。大しだれ桜の円通寺橋を渡り、再び住宅街を抜け⑩で山道になる。緑陰が嬉しい阿弥陀ガ峰との分岐で女性2人がお昼にしていた。其処には涼風があった。私達もここで腰をおろしお昼にした。国道1号線はくぐり抜け清水山へ取り付き、穏やかな登りで清水山山頂(242m)眺望はないが広く明るい木立に、ホッと座り込んで誰かさんの麦水で乾杯!...やっぱりこれですわ。

東山山頂公園から山腹沿いに緩やかな下り尊勝院を経て栗田山荘前に降り立つ。しばし日本建築の粋に見とれる。広大な旧都ホテルに沿って歩き蹴上駅に着いた。15:15。夏本番でしたが行程は緑陰コースであったのどずっと曇り空も幸いでした。